

親子クイズ 506

Q このたび、約100年ぶりの大修理を終えた『国宝・正倉院』についての問題です。
次の A ~ C にそれぞれ漢字2文字を入れて、文章を完成させましょう。

A 寺にある正倉院には、 B 天皇の使用した道具や楽器などが、現在でも良好な状態で保存されています。

華やかな貴族文化が栄えたこの時代の文化を、 C 文化とよびます。

【第505回解答】

- ① 一 ⑤ 七
- ② 四 ⑥ 三
- ③ 二 ⑦ 十
- ④ 九 ⑧ 五

【第505回当選者】

- 河村 喜和 (国 分)
- 小松 豪 (比 江)
- 長尾 広子 (大埴甲)
- 野川 康伸 (大埴甲)
- 山本 ちも子 (十 市)

★応募総数／88通

★正 解 率／91%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

■応募締切／7月14日(月)必着

■あ て 先／〒783-8501

南国市大埴甲2301

南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募

■賞 品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

空と緑に囲まれて



さいとう きみこ 齊藤 喜美子さん (白木谷)

夫と子ども6人の8人家族です。白木谷の山の上で、夫とその両親とで山地酪農をしています。元々は急勾配の雑木林だった土地を、夫の両親が開墾して牧場にしました。完全放牧なので、基本的に牛舎に牛はおらず、搾乳の時以外はずっと外にいます。暑い日は風の吹く木陰に集まり、寒い日は牛同士が寄り添い合って、のんびりと過ごしています。野生の牛に近い育て方の酪農と、見晴らしのいい景色を、小学生や保育園の子どもたちに体験しに来てもらいたいなあと思っています。

サッカー 一筋



おおかわ かずたか 大川 一隆さん (久礼田)

父親の影響で小学1年生からサッカーを始めました。27歳で選手は引退しましたが、現在は指導者としてサッカーに関わっています。今年の4月から中学生対象のクラブチームを立ち上げ、指導をしています。15名の部員は全員1年生。市外から来ている子もいます。あいさつや整理整頓は厳しく言っていますね。勉強も頑張るようにと、テストの点数も確認しています。目標は全国で戦えるチームにすること。将来、日の丸を背負う選手が出てくれたらうれしいですね。

市民からのお便り クイズ、毎月楽しみにしています。

市民からのお便り いつも南国市の出来事を写真付きで載せて頂き、読むのが楽しいです。

なんこく歴史散歩 第20回

室町時代になると、土佐では守護代細川氏による領国経営が始まります。細川氏は南北朝の内乱の中で、地頭や地方豪族を従えて成長した守護大名で、山陽や近畿、四国地方の七つの国を支配していました。土佐もその内の一つでしたが、土佐には守護が来ず、代理である守護代が置かれることとなりました。

その守護代として康暦2(1380)年に入国した細川頼益は、古くから田村庄という荘園があった田村の地に城館を構えます。この田村城跡は、「城」という小字の残る場所を中心として、堀に囲まれた約200m四方の広さであったと推測されています。城館内には、菩提寺である桂昌寺(のちの細勝寺)も構えられており、その跡地の一



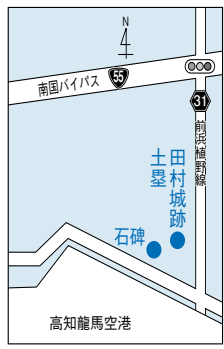
「田村城跡及び細勝寺跡」石碑

土佐の守護代細川家のはじまり

地表には、土塁の一部が残るだけですが、高知空港拡張工事のための発掘調査やその後の学術調査で、5m以上もの幅がある堀が二重に巡っていたことが判明しています。ただし、城館のすべてを確認できたわけではなく、城の範囲や建物の大きさなど、まだまだ解明すべき点が多く残されています。現在、田村東部公民館の裏に残されている南北に伸びる土塁は、当時の田村城の面影を今に伝えており、南国市の史跡に指定されています。



田村城跡土塁



※お問い合わせは生涯学習課文化財係 (0880・6569) まで

42 人権学習シリーズ

「自分の問題として」

※このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

※お問い合わせは人権啓発広報委員会 (0880・6569) まで